

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		すまいる・キッズ			公表日 2024年11月30日		
	チェック項目	はい	いいえ	無記入	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1		スペース上問題があり難しいが狭い中でも場所を有効活用している	ガイドラインに定められた基準は満たしています。引き続き、活動内容やお子さまの状態に応じて適切なスペースが確保できるように創意工夫してまいります。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6			必要に応じた職員の加配を行っている 子どもの様子に応じて対応している	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2		必要に応じたパーテーション等での区切りをしている 予定表、作業手順表、視覚的ツールを作成・活用している バリアフリーにはなっていない バリアフリーは事業所上難しいがコーナー分けをしたり支度する場所は定着している	着脱の場所と遊ぶ場所とをパーテーション等を用いてコーナー分けしていく予定です。引き続き、お子さまにわかりやすいように、予定表や手順書、実物・写真・カード等の視覚的なツールを作成・活用した環境設定に努めてまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6			個別スペースとしてテント類を設置している	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6			支援前の目標設定、支援後のチームでの振り返りを行い次回の支援につなげている 個別療育でも職員全員参加の会議がある	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			日々のミーティングや月1回以上のミーティングで話し合う機会を設けている ガイドラインアンケートの実施を行い率直なご意見を頂いている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4	1	入職したばかりで分からない	練馬区の訪問指導を年1回の頻度で受け、業務の改善につなげています。3年に1回の頻度で監査を受け、業務の改善につなげています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6				
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	2		現在作成中、近々公表予定 年内公表を目指し準備中	年内公表を目指して、申請中です。ホームページに掲載しますので、ご覧ください。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6			定期的に検査による評価を行っている	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			ケース検討会を実施	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			全利用児に対してVineland-II 必要に応じてOTによる感覚プロファイル Vineland-II、適応行動尺度を用いてアセスメントを行っている	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6				

提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6				
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	1		個別療育利用児（希望者）には夏期グループ療育の機会を設けている。集団療育利用児にはOTによる専門的支援を実施している。個別療育の方には夏期集団療育を実施した。集団療育の中で個別対応を行うようになっている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1		打ち合わせをすることの方が多く必ずできるよう改善に努めたい	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		1		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			集団療育については毎回打ち合わせが行われているが個別療育に関しては個々の担当に任されている部分が大いだと思います	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			6カ月以内に行っている	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			職員が全員いる時に開催している 関係機関が集まり連携、情報の共有をすることができた	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	3		保育園、幼稚園以外の関係機関との連携は少ないと思います 児童発達支援事業所を併用されている方は、保護者を通じた聞き取り等を行い、個別支援計画の目標や支援内容、方法の調整を行っています。今後は、保護者の意向を踏まえた上で、他事業所の個別支援計画をいただくようにしていきます。 必要に応じて、保健相談所との連携をおこなっています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1		利用児の通園している幼稚園、保育園への見学を積極的に行い、担任との会議を通じ連携を図っている 幼稚園、保育園への訪問をしている、見学の受け入れもしている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	3		就学支援シートの紹介及び利用を保護者に対し積極的に働きかけている ご家族の意向に応じて就学支援シートを作成し申し込みをしている 入職したばかりで分からない 就学支援シートを活用している	引き続き保護者のご意向をお伺いし、支援シートの作成を通じた申し込みをしております。 支援学級・支援学校の見学説明会に参加し、把握した教育環境や教育内容についての情報を、保護者のご要望に応じてお伝えしております。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	3		センター主催の展示会やセンター職員による研修を受講しその際に助言等を得るようにしている	引き続き、センターで開催される研修や展示会に参加し、必要に応じて質問や相談を行い助言を受けてまいります。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	2		法人内保育所が行っている地域交流会への誘いを該当するグループ保護者に対して行っている 法人運営の保育園が実施している。地域交流事業の情報を伝え、必要に応じた付き添いをしている 入職したばかりで分からない 未就園のお子さんには同事業所内の保育園園庭解放の案内をしている	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6				

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6			具体的な生活面での介助法、あそびの助力や提案、ミニ講座での情報提供、子育てに関する相談援助、支援場面を通じた学びの機会、標準化された家族支援プログラムは導入していない、研修受講中	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			契約の際に行っている	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			サービス等利用計画の内容や事業所独自で子ども家族の意向、要望を聞き取り計画作成している	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6				
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6				
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		1	保護者会年2回、交流会年1回、ミニ講座不定期 きょうだい同士の交流の機会は設けていません	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6				
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6			おたより月1回、HP、SNS不定期	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			鍵のかかる書庫に保管している、写真や作品は個人が特定されないようし記載の承諾をえている	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6				
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5		事業所単体では実施できていないが法人としてはコミュニティカフェで毎月子ども食堂を実施したり子育てのひろばで地域ボランティアによるイベント等を行っている 事業所単体では行っていないが法人として子ども食堂、カフェの運営を行っている	事業所単体で行う予定はありませんが、法人として行う事業への協力と共に、保護者の方へ情報提供してまいります。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			訓練、保護者等が見える所にファイリングし掲示している	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6				
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6			保護者より持病、服用薬のききとりをしている、予防接種に関するききとりはしていない	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1		食事提供を行っていないため指示書の提出は求めていないがアレルギーに対する確認は行っている 保護者よりアレルギーの聞きとりをし非常時持ち出し袋にいれている	アセスメント時に聞き取りを行い、一覧表にして、非常時にも持ち出せるようにしてあります。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6				
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			掲示している	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6				
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			年2回以上の委員会の開催及び研修を実施している 年2回事業所内で実施	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6				